

# 深谷市議会 「議会改革」 議員の意識改革が焦点!

6月定例会で設置された「議会改革委員会」ですが、議論を深めながら、既定の制度とどのように折り合いをつけるのか、具体的な議論へと発展しています。また、他議会の取り組みについて研究すると、全国的に方向性は一致していても、それぞれの議会環境により議論の中身は千差万別です。ただ間違いなく共通して言うことは「議会改革は議員の意識改革」であり、議会への信頼を高めるためにも改革が必要です。



前年度の決算は9月定例会で審査されますが、これまで以上に審査の精度を向上させるために特別委員会、各分科会を設置し、今年で3度目の決算審査になります。

分科会は先進的取り組み決算審査にすべての事務事業シートを資料として求めている市議会は、まだ少なく、先進的な取

り組みです。今後は、膨大な資料の読み込みを確実に進めていくことが議員に課せられます。

《決算認定》審査精度を高めるために

2年前より決算特別委員会を導入し、事業評価の審査は精度が向上してきました。次の取り組みとして、決算での評価を次の予算にどのようにつなげていくのか、予算特別委員会の設置を視野に入れた検討を始めた。



《決算特別委員会を終え 市職員と意見交換》

**議会報告会の開催**

市議会議員による「議会報告会」を定期的に開催していくものです。特に予算関連は市民生活に直接関係し、大きな関心事であると考えます。「市議会」でどんな議論があったのか、議員の言葉で説明していく報告会開催を検討しています。

**賛否の公表**

深谷市議会の現行の制度では、賛否の公表は行っておりません。議員全員が議会人として採決に責任を持つならば、賛否の公表は当然のことと考えます。議会インターネット放映も昨年度より始まり、議決の可視化も導入するべきと考えます。

**反問権を導入**

反問権とは、質疑の論点がずれないように、主に市側から議員に対し確認の質疑が行える制度です。また、議員と市側双方の議論になることで、質の高い議論へと発展する効果が期待されます。

**予算特別委員会**

2年前より決算特別委員会を導入し、事業評価の審査は精度が向上してきました。次の取り組みとして、決算での評価を次の予算にどのようにつなげていくのか、予算特別委員会の設置を視野に入れた検討を始めた。

**反問権を導入**

反問権とは、質疑の論点がずれないように、主に市側から議員に対し確認の質疑が行える制度です。また、議員と市側双方の議論になることで、質の高い議論へと発展する効果が期待されます。

**議会の取り組みについては**

【これまでの取り組みについては前号の特集を参照願います】

## 市民産業委員会

所管・市民生活部、産業振興部 及び農業委員会の所管に関する事項



委員長 田嶋 村川  
副委員長 加藤 藤川  
委員 永田 柴崎  
馬場 勝彦  
柴崎 重雄  
加藤 温子  
藤川 徳浩  
村川 均

## 総務委員会

所管・企画財政部、総務部、秘書室、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会等



委員長 三田部 恒明  
副委員長 清水 清修  
委員 新井 博邦  
須藤 之男  
高田 稔  
仲田 稔

## 環境都市委員会

所管・環境水道部、都市整備部 及び検査室の所管に関する事項



委員長 中矢 幸太郎  
副委員長 倉上 克子  
委員 小森 由朗  
武井 秀夫  
田島 信吉

## 福祉文教委員会

所管・福祉健康部、子ども未来部 及び教育委員会の所管に関する事項



委員長 吉田 幸太郎  
副委員長 石川 克正  
委員 今村 三治  
加藤 利江  
清水 義睦  
松本 政義

## 国への意見書提出請願

**賛成討論** 今ある原発は稼働させない。この請願は危険な原発に対する警告の意味もあることから賛成である。

**反対討論** 文章中に不適切な表現がみられることや、国のエネルギー問題などを考慮した文章になっていないことから反対である。

賛成 17人      反対 8人

『原発からの撤退を求める意見書提出への請願』(趣旨要約)

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものである。そうした原発を、世界有数の地震・津波国である我が国に、集中的に建設することは危険きわまりないことである。以上を踏まえて、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求める。

深谷市上柴町西6-22-1  
日本共産党深谷市委員会 代表 中島 保

## 市政への請願

**賛成討論** 県内の半数以上の自治体が中学卒業まで通院費無料である。また市長の公約であり、早期実現への声も寄せられていることから賛成である。

**反対討論** 市長の公約であるので実現に向けて進んでいるものと思う。今年度予算に盛り込めなかった理由に、厳しい財政状況も考慮しなければならない(実現させるための財政負担の試算は約6000万円)。

賛成 20人      反対 5人

『子ども通院医療費無料を中学校卒業まで年齢拡大についての請願』(趣旨要約)

深谷市でも小学生・中学生を持つ保護者から通院医療費無料の年齢拡大が大変期待されている。少子化対策の一環としても、子ども通院費無料を中学校卒業まで拡大することを望む。

深谷市東方3676-46  
新日本婦人の会深谷支部 支部長 堤 和江

「議会改革」の取り組みは、市民生活部、産業振興部、環境水道部、都市整備部、福祉健康部、子ども未来部、教育委員会、総務部、秘書室、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会等が所管する。市が直接実施するものや補助金などを交付して実施するものがあります。